

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）  
令和五年八月十三日發行（毎月一回十三日發行）  
定価 五〇〇円

第983号

第七十九卷

9  
月号

高知  
龍跳書道会

竹村子雀書

順時不作榮枯想適意元無勝負心

丁巳夏月

順時不作榮枯想適意元無勝負心

神武天临光下澈鴻臚初唱第一  
肅白而立卽年六一神武宋有  
天下造不使敵拜使傳道於  
錦東南第一州棘墮湖山雨清  
晴日裏陽野老漁竿客不  
愛翁羣愛泉石相逢不約

神武天臨光下澈。鴻臚初唱第一聲。白面王郎年十八。神武樂育天下造。不使敲枰使傳道。衣錦東南第一州。棘壁湖山兩清(清)照。襄陽野老漁竿客。不愛粉華愛泉石。相逢不約々  
神武天臨<sup>しんぶ</sup>すれば光は下<sup>か</sup>てつる。鴻臚<sup>こうりゆう</sup>初めて唱<sup>うたつ</sup>う第一声、白面<sup>はにめ</sup>の王郎<sup>おうろう</sup>年十八。神武<sup>しんぶ</sup>育<sup>いく</sup>つを楽し<sup>み</sup>み 天下<sup>てんか</sup>造<sup>つくる</sup>る、敲<sup>くう</sup>枰<sup>ひょう</sup>せしめず伝道<sup>でんどう</sup>せしむ<sup>る</sup>  
衣錦<sup>いきぬ</sup>東南<sup>とうなん</sup>第一州<sup>だいいしゅう</sup>棘壁<sup>さきへき</sup>湖山<sup>こさん</sup>両に清照<sup>せいじょう</sup>襄陽<sup>しょうよう</sup>の野老<sup>のうろう</sup>漁竿<sup>ぎょかん</sup>の客<sup>のき</sup>、粉華<sup>ふんか</sup>を愛<sup>めぐらす</sup>せず  
泉石<sup>せんせき</sup>を愛<sup>めぐらす</sup>。相<sup>あ</sup>い逢<sup>お</sup>うて約<sup>あく</sup>せす 約<sup>あく</sup>すれば無逆<sup>むぎゃく</sup>

蜀素帖  
米芾

蜀で織られた絹に書かれた自作の詩巻である。末尾に「元祐戊辰九月廿三日溪堂米黻記」とあり、元祐三年（一〇八八）に、当時、湖州の知事であつた林希の招きを受けてその任地に遊んだときには書かれたもので、米芾三十八歳の書である。荒い絹地にしかも烏絲欄が施されているので、書にいくぶんの気負いと慎重さがうかがえるが、線が澄みきつっている。

河村容舟書

竹梢露滴驚殘夢荷蓋風翻送早涼

竹梢露滴驚殘夢荷蓋風翻送早涼  
夏風翻送早涼

亨年五

中平美峰書

林邊鳥語月微下竹裏花飛春又深

林邊鳥語月微下竹裏花飛春又深  
重來春未到春又深

中平美峰書

梅川桂龍書

日長くして  
小年の如し

日長  
如  
小年

小日長如

梅  
川  
桂  
龍  
書

可 餘  
醉 花  
猶

余よ  
花か  
猶な  
醉うべく

福 原 曉 雲 書



菊酒不祥を除う  
はなぐいしゆくをのぞむ

福原曉雲臨

蜀素帖米芾

神武天臨光下

神武天臨光下

江西澄翠書

山鄉之境  
石鼎茶香  
煙雨  
曉晴風暖  
在在  
澄翠書

江西澄翠書

印

印

市原處艸書

愁如閑新鏡雨  
山鄉是好風光  
王處艸書

田村和子臨

有張是輔世載其德  
爰既旦聆君蓋

和子書

門田惠子臨

多惠光采深以爲賞  
秀華以首來也

和子書

比之多焉。若老若  
少者如布乞者。  
山潭通氣雲行雨施既  
成萬物易之義也。  
其身山容舟謹

湛々具區無底訖可  
怜一點終不易扭。  
至華峰

可憐鳥白鳥僵言知大嚼  
生故三更帝教子胥寫大  
洋江月

百之恒期乘和載誕  
文明羽世萬信  
至津嶋

弘田賀峰

浜崎洋堂

岩河里華

河村容舟

大原桂園

空有之論或習俗而是非  
大小之乘卡以時。  
其身山容舟謹

白髮三千丈緣愁似剪長不  
知此鏡裏何文字得秋霜。

不羨不自立舒光射  
丸々相見吐乎教鶴。  
美作邦

予多抱傳教法寫汝  
渺彌固與之通。  
江月

及其所之既倦情隨  
事遷感慨係之矣。

中城康華

佐竹江月

杉本美邦

中平美峰

深瀬綠堂

条幅当選作品 廣末幽念選評

★天位

大原桂園君||おだやかな線で好感がもてる。

河村容舟君||丁寧に書かれている。

岩河里華君||のびのびと書いた態度に惹かれた。

浜崎洋堂君||技術の確かさを感じる作。

弘田賀峰君||堂々と練れた線で意氣盛ん。

★地位

深瀬綠堂君||線に伸びがありなめらかな感じです。

中平美峰君||手慣れた字形で紙面明るい。

杉本美邦君||線が太く豊かな作風でまとめている。

★人位

佐竹江月君||全体が良く流れで見ることが出来る。

中城康華君||確かな書きぶりで落ち着いた作。

作品は毎月20日必着  
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◇

8月の審査は27日(日曜)午前9時30分に開始します。審査会場は高知城ホールです。

※審査終了後、県展作品勉強会を行います。(参加費500円)

暮春思心

雲深鄉

中学一年課題　廣末幽念書

技术

術学

空虚  
清里

小学五年課題 隅田亘心書

高秋向

し空

山秋

里の

小学三年課題

大原桂園書

生  
命

小学二年課題　岡林邦心書



9月20日締切

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書



学校名	波から来る光のあみが、
年	底ゆらのびたり縮んだりしまし
級段	た。あわやごみからは、まつ
氏名	すぐなかげの棒が、ななめに
	水の中に並んで立ちました。

学校名	ても、残雪は、もう、じたば
五年	たさこわざしませんでした。最期
級段	のときを感じて、頭領として
氏名	力していけるようでした。

学校名	秋になりました。
四年	木の葉も、いつのまにか、
級段	黄色に色づいています。
氏名	この木は、いち
	うだつたのだな。

学校名	いく小屋に行つてみた。	休み時間に、校庭のし
年	ちりん、つづけさこまに鳴	りだした。うさこぎたちが
級段	近づいていくと、チリン、	しやべり始めたのだ。
氏名	チリン、つづけさこまに鳴	りだした。うさこぎたちが

がっこう	も見 てく ださ い。	ぜひ、 大きくな やぐら。	まつ りに行 つたら、 お	どの土曜日 です。	おまつりは 、 一 ん
二 ねん					
きゅう うん					
なまえ					

がっこう	あ	あ	い	ち
一 ねん	る	し	こ	き
き ゅう うん	け	で	み	ゅ
なまえ				
	た	ん	う	
	た	な		の
	い	の		
	て			た



## 第六十六回 龍跳展を終えて

梅川 桂龍

会員の皆様のご協力のもと、龍跳展を無事終了することができました。搬入・搬出をはじめ毎日の受付当番等、皆さん的一致協力によりスムースに運行されました、喜ばしいことです。

作品数は七十二点（亡くなられた先生の作品七点含む）で年々減少傾向にあり、新しい方の参加を是非共お願いしたいです。最終日は高知城ホールで久しぶりに打ち上げが行われました。受賞者の表彰もあり賑やかに歓談でき、次回展に向けての意気込みも感じました。

これからも龍跳書の伝統ともいえる、古典を基調とした落ち着きある書風を継承しつつ、更に内容の充実した展覧会にできればと思っています。会員の皆様、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 第六十六回 龍跳展入賞作品について

(審査：福原・廣末・武内・梅川) (コメント：福原・梅川)

龍跳賞 市原處艸 若さみなぎる躍動感のある堂々とした作品。  
幽玄齋賞 河村容舟 筆力を生かした潤滑ある作、中央三文字の工夫が惜しかつた。

湖筆堂賞 西内仁子 抑揚ある運筆リズムで品格あり。  
優秀賞 大崎花梢 自在な運筆で大胆さもあり、見ごたえがある。  
(順不同) 佐竹江月 すつきりした作、下半分がやや寂しい。

天野喜泉 新鮮でまじめな作品。  
中城康華 力強い線、流れもよい一行目下部やや混雜では。  
浜崎洋堂 柔らかい筆を駆使し呼吸長く明るい作、渴筆が利いて品格あり。  
中平幸仙 ゆつたりとした筆使いで、落ち着いた時の流れを感じる。

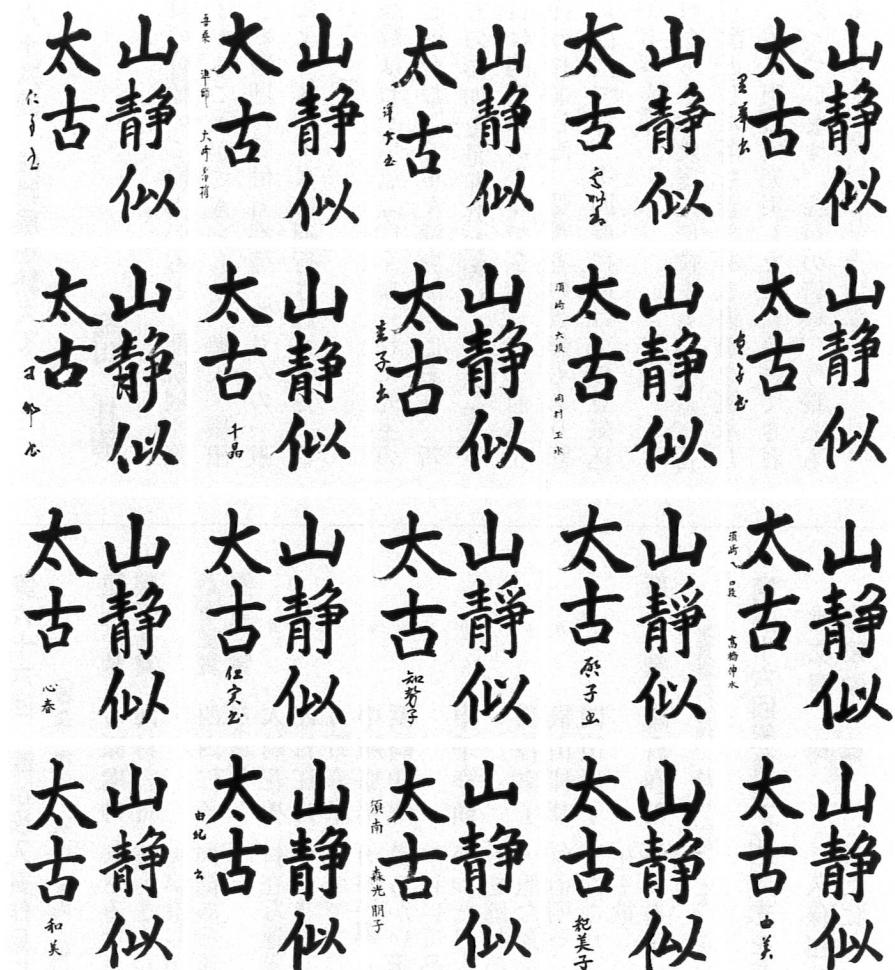
利谷喜子 大胆な運筆で屈託無い、深い線も欲しい。  
横山桂華 紙面明るく華がある。  
門田恵子 なかなか工夫を凝らしてはいるが、線質の変化も欲しい。

新人賞 鎌倉春葉 勢いあまる若さある作品、さわやか！

受賞者の皆様、誠におめでとうございます

第六十六回龍跳展にご芳志をありがとうございました。

幽玄齋様 久保田號様 山下枝雪様  
湖筆堂様 たに志様 天野喜泉様



(一・二段目) 梅川桂龍 選評

里華君 || 重厚感・屈いてい。安定感あり、意が

處艸君 || 剛健な筆致で佳、古字はや

洋女君 || 小粒ではあるが、線に潤い

花梢君 || 大胆な字がよく調和してい

る。仁子君 || 温和な作、今一步筆力を。

恵子君 || 前者に同じ。師風を感じま

す。

玉水君 || 落ち着いた筆跡で、ゆとり

ある作。

圭子君 || 大らかで気持ちよく運筆し

ている。

千晶君 || 淡々と書して明るい。

司郎君 || 線質に味わいあり、強い。

玉水君 || 健康で伸びやか、心の広さ

が書に現れている。

西山極山 選評

(三・四段目) 啓子君 || 堂々として力強い。

知勢子君 || 大きく強く書きまとまつ

てある。落款に「書」と

書いて下さい。

仁実君 || おちつきのある作品。

心春君 || 最後までていねいに書けて

由美君 || 温和な線であたたかさを感じる。

紀美子君 || 動き大きく作品が強く感

じる。落款に「書」と書

いて下さい。

朋子君 || 力強く書かれています。

由紀君 || よくまとめ、力強いです。

和美君 || 優しさを感じられる作品で

す。

絳烟	近業來	衆情
旂旗	若業何	以喜
山巒	近業來	衆情
青雲	若業何	以喜
良懷心	近業來	衆情
神鈞	若業何	志象
近業來	衆情	宣導
蕊業何	以喜	遺訓
近業來	衆情	近業來
蕊業何	志象	宣導
近業來	衆情	遺訓
蕊業何	志象	近業來
近業來	衆情	宣導
蕊業何	志象	遺訓
良懷心	近業來	近業來
神鈞	至善過	宣導
其山齋	池跨水	遺訓

美馬林

第一精

利忠

真

(一・二段目) 紅子君 || 文字の特徴を四文字にまと  
福原曉雲 選評  
澄翠君 || 布置章法、大変明るく品格  
有。雅文良し。雅印が無  
賀峰君 || 品格有。運筆の緩急潤渴を加味し、  
竹山君 || 運筆リズムは良いが、文字  
やや大きめ。今後、落款を品  
良く書かし。共に原帖を良品。  
美泉君 || 潤渴を入れ、線が柔い。今  
後も、この調子で。  
智子君 || 後りにまじめな位が、今後柔い  
線と落款の研究を。  
(二・三段目) 眉州君 || 字形、筆使い。  
岡崎綠水研究を選評  
司郎君 || 手慣れた臨。堅美な書きぶり  
玉泉君 || ゆつたりと安定感のある臨。  
少し墨を含んだ線があれば  
淳君 || 大らかな臨。好感がもてる。  
(三・四段目) 武内、美仁選評  
英子君 || 線はよく伸びて、バランス  
もよい。  
美佑貴君 || 強く伸びた線は良いがもう  
久美子君 || 字々明るく、力みなく良  
利恵君 || 毛先が生き、軽妙な筆致で  
幸三君 || 重厚な線で見応えあり。  
由美君 || 丸みのある線質で伸びやか  
(四段目) な作。  
志津君 || 字々のめりはりが効果的で  
美香君 || 堅実な書きぶりに好感がも  
り。岡林邦心選評  
美裕君 || 九成宮の雰囲気が出て良い。

川上の急流

介良中二年小松繪実

川上の急流

胡五二年河原庄

の谷川

長岡六年森田千春

風花月鳥

横山五年喜田美奈

風花月鳥

横山中一前田美奈

川上の急流

胡五二年河原庄

の谷川

田豊小九年西田紗葉

の谷川

横山六年金子

の谷川

横山六年金子

の谷川

横山六年金子

の谷川

横山六年金子

の谷川

横山六年小松わじ

大夏の空

五年大寺

大夏の空

横山五年喜田美奈

大夏の空

横山五年喜田美奈

大夏の空

横山五年喜田美奈

大夏の空

横山五年喜田美奈

大夏の空

横山五年喜田美奈

川天の

タダ四年大原りさ

大夏の空

横山五年喜田美奈

大夏の空

横山五年喜田美奈

大夏の空

横山五年喜田美奈

大夏の空

横山五年喜田美奈

大夏の空

横山五年喜田美奈

(一段目) 中学部

佐々木港花 選評

論実君||形も流れも良いです。

嵐君||気持ち良く書いて形も整い、いいですね。

真音君||頑張つて下さい。

茉奈君||気持ち大で、ごく良いです。

明日香君||頑張つて続けていきましょう。

(一・二・三段目) 小学六年 千春君||堂々とした作品です。

中平美峰 選評

誠実君||形良く整えました。

風葵君||のびのびと書けました。

紗菜君||力強い作品です。のびのびと書けました。

雛子君||落ちついてかけています。「の」もう少し大きめ。

美陽君||よく整っています。

彩心君||元気よく書けました。

紗菜君||力強い作品です。のびのびと書けました。

わと君||ていねいに書けています。

桃萌君||のびのびと書けました。

(三・四段目) 小学五年

深瀬綠堂 選評

陽菜君||堂々として力強さがある。

輝翔君||ていねいに書けています。

風佳君||落ちついてのびやか。

一乃君||よくまとめています。

かな子君||一字力強く素晴らしい。

仁貴君||素直で明るい。名前の位置に注意してね。

結衣君||線良く明るい。

愛加君||ていねいに書けていますが、もう少し力強く。

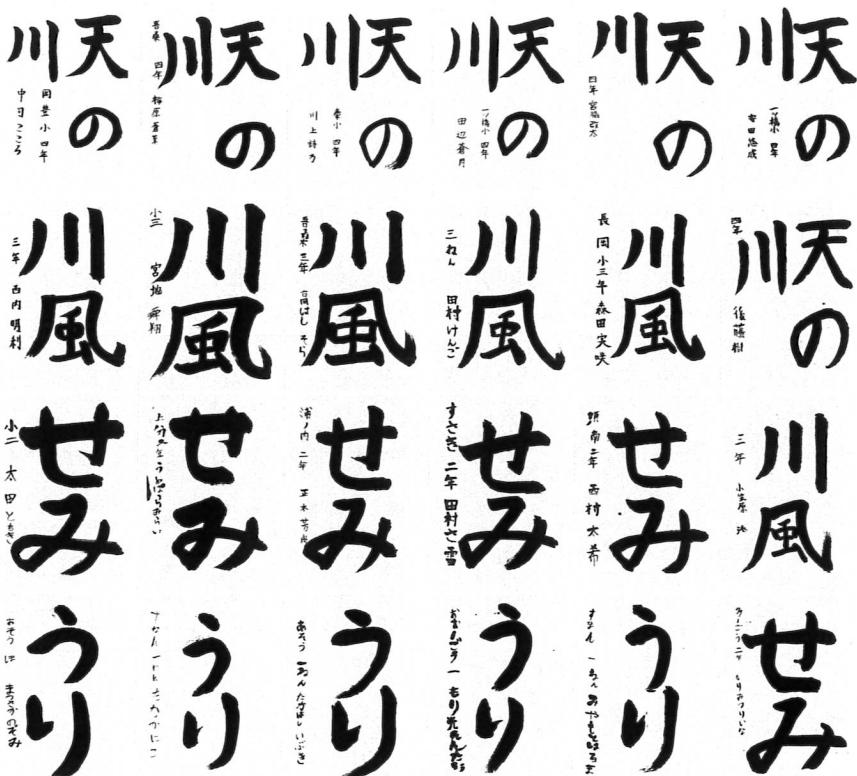
聖愛君||ゆつたりと体がよく動いています。

(四段目) 小学四年

大原桂園 選評

リサ君||しつかりしています。

# 学童優秀作品



(一・二段目) 小学四年

悠成君 || 落ちつきがあります。

改太君 || 元気に書けています。

蒼月君 || 明るくまとまっています。

詩乃君 || ゆつたりしています。

蒼葉君 || 強さがあります。

こころ君 || いいねいに書けています。

樹君 || 伸び伸びしています。

実咲君 || ていねいによくまとめています。

けんご君 || のびのびしています。

そら君 || のびやかでせんが強い。

舜翔君 || 力づよく書けています。

明利君 || 上手にまとめています。

湊君 || かたちよく書けています。

(三・四段目) 小学二年

太希君 || 力強くまとまっています。

さゆき君 || 強い線で「せ」がとても良い。

芳尚君 || ていねいによく書けています。

みらい君 || 元氣で一生けんめいですね。

ともき君 || のびのびと書けています。

りいな君 || 落ちついでよい字です。

(四段目) 小学一年・ほいく

はるま君 || げんきにかけています。

れんたろう君 || ちからづよくかけています。

いぶき君 || のびやかによくかけています。

にこ君 || まじめに書けています。もう少し大きくかいて

のぞみ君 || のびのびとかけています。

佐竹江月  
選評

奥堂皓月  
選評

河村容舟  
選評

（二・三段目）小学三年

実咲君 || ていねいによくまとめています。

河村容舟  
選評

太田よしゆき

河村容舟  
選評

上田みさと

河村容舟  
選評

太田ひかる

河村容舟  
選評

# 硬筆優秀作品

上分 浦ノ内 美島乙世花

長岡 一ツ橋 氏原 一乃

秦 一ツ橋 玉城 遥音

別府 別府 廣介 川西 康介

私たちが感じている時間は、いつでも、どこでも、だれに、と、ても、同じものとはいえません。心の時間には、さまざまなえいきょうを受けた進み方が変わったります。

私たちが感じている時間は、いつでも、どこでも、だれに、と、ても、同じものとはいえません。「心の時間」には、さまざまななえいきょうを受けた進み方が変わったります。

残雪というのは、一羽のがんに付けられた名前です。左のつばさに、一か所ずつ、真っ白なまじり毛を持ついたので、かりゆうどたちからそうよはれていました。

お父さんは、ホームのはしほの、ごとみすて場のような所に、わすれられたようさいつけたのです。

私たちが感じている時間は、いつでも、どこでも、だれに、と、ても、同じものとはいえません。心の時間には、さまざまななえいきょうを受けた進み方が変わったります。

残雪というのは、一羽のがんに付けられた名前です。左のつばさに、一か所ずつ、真っ白なまじり毛を持ついたので、かりゆうどたちからそうよはれていました。

お父さんは、ホームのはしほの、ごとみすて場のような所に、わすれられたようさいつけたのです。

お父さんは、ホームのはしほの、ごとみすて場のような所に、わすれられたようさいつけたのです。

私たちが感じている時間は、いつでも、どこでも、だれに、と、ても、同じものとはいえません。心の時間には、さまざまななえいきょうを受けた進み方が変わったります。

残雪というのは、一羽のがんに付けられた名前です。左のつばさに、一か所ずつ、真っ白なまじり毛を持ついたので、かりゆうどたちからそうよはれていました。

お父さんは、ホームのはしほの、ごとみすて場のような所に、わすれられたようさいつけたのです。

私たちが感じている時間は、いつでも、どこでも、だれに、と、ても、同じものとはいえません。心の時間には、さまざまななえいきょうを受けた進み方が変わったります。

残雪というのは、一羽のがんに付けられた名前です。左のつばさに、一か所ずつ、真っ白なまじり毛を持ついたので、かりゆうどたちからそうよはれていました。

お父さんは、ホームのはしほの、ごとみすて場のような所に、わすれられたようさいつけたのです。

久礼 中平 森田 千春

一ツ橋 飯田 桃萌

越知 大原 瑠心

長岡 北村 詩乃

残雪というのは、一羽のがんに付けられた名前です。左のつばさに、一か所ずつ、真っ白なまじり毛を持ついたので、かりゆうどたちからそうよはれていました。

お父さんは、ホームのはしほの、ごとみすて場のような所に、わすれられたようさいつけたのです。

お父さんは、ホームのはしほの、ごとみすて場のような所に、わすれられたようさいつけたのです。

お父さんは、ホームのはしほの、ごとみすて場のような所に、わすれられたようさいつけたのです。

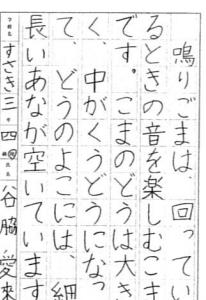
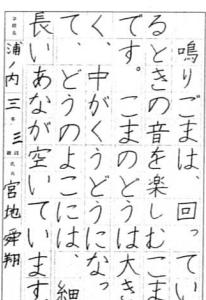
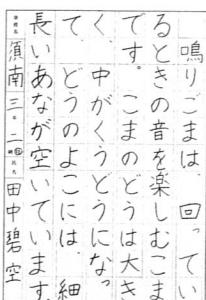
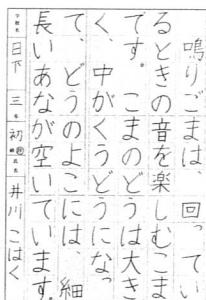
お父さんは、ホームのはしほの、ごとみすて場のような所に、わすれられたようさいつけたのです。

お父さんは、ホームのはしほの、ごとみすて場のような所に、わすれられたようさいつけたのです。

# 硬筆優秀作品

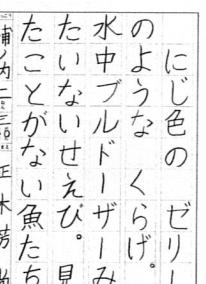
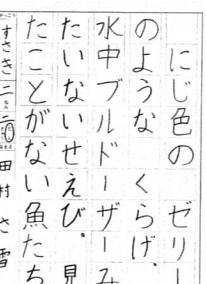
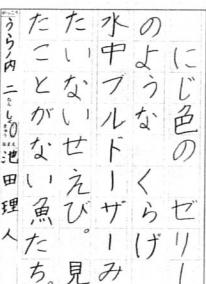
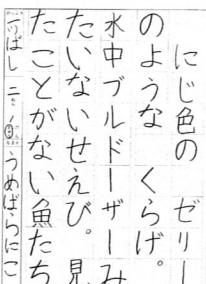
須  
日下  
井川  
碧空

すさき  
浦ノ内  
谷脇  
愛來  
宮地  
舜翔



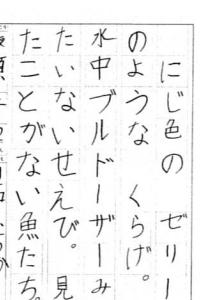
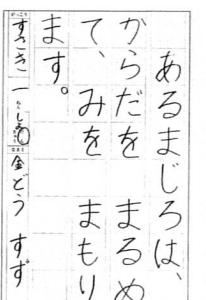
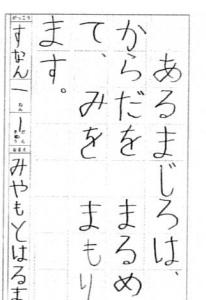
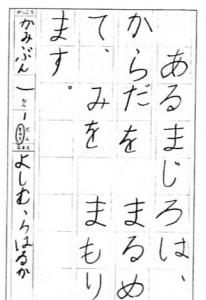
浦  
田中  
碧空

浦ノ内  
正木  
芳尚  
田村  
さ雪



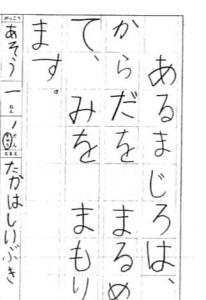
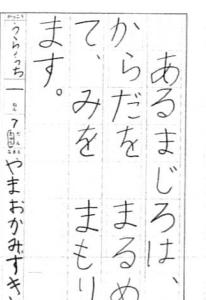
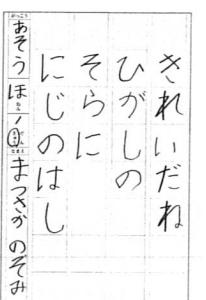
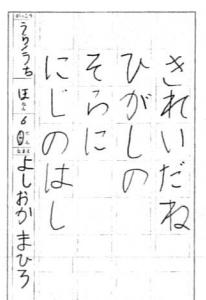
浦  
田中  
碧空

夜須  
白石  
金どう  
いちか  
すさき  
金どう  
白石  
いちか



浦  
田中  
碧空

あそ  
うら  
うち  
たか  
やま  
おか  
みづ  
あそ  
うら  
うち  
たか  
はしい  
ぶき



第944回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

審查 廣末 幽念

(※印写真版)

★推薦

※江西澄翠  
※市原處艸  
※田村和子  
※門田惠子

★天位

※※※河村容舟  
※※岩河里華  
※※浜崎洋堂  
※弘田賀峰  
岡林邦心  
西山極山  
大石千施  
田村眉州  
笠原広人  
氏原美泉  
伊吹悠道  
高橋桜芳

★人位

※佐竹江月  
※中城康華  
大八木洋女

★地位

※深瀬綠堂  
※中平美峰

南山旭佐須須久山旭山越東須久旭波旭  
国田筆川崎崎礼田筆田知洋南礼筆介筆

規 定

久 久 旭 多 久 窪 上 久 大 越 香 須 旭 須 越 旭 大 高 吾 吾 旭 山 安 久 吾 高 仁 山 山 越 久 山 山 吾  
礼 礼 筆 ノ 札 川 加 札 野 知 北 南 筆 崎 知 筆 野 知 桑 桑 筆 田 芸 札 桑 知 淀 田 田 知 礼 田 田 桑  
郷 見 見 川

久須室南国  
礼川市南

旭旭仁壅東佐中香佐仁旭明須東久越大高須  
筆筆淀川洋川公北川淀筆石南洋礼知野知崎  
里里

池川千晶  
龜井司郎  
浜恵子  
浪上理奈  
山村星子  
田脇佳月  
星野千鶴  
坂本絢子  
吉永光翠  
笠原多嘉  
武政幽雅  
中城康華

岡村玉水 大平圭子 利谷喜子 中沢里花 岩谷紅花  
藤原美賀 祥 藤原朱鳳 田村眉州 岩村  
横山友香 井口妙慧 田中道子 戸田幸一  
庄野道子 佐藤喜代子 伊吹北 本山秋子  
岡田昌也 佐藤千鶴 伊吹北 本山春葉  
岡田昌也 佐藤千鶴 伊吹北 本山秋子  
横山友香 井口妙慧 田中道子 戸田幸一  
岩村 美賀 祥 藤原朱鳳 田村眉州 岩谷  
紅花 岩谷紅花 岩村 美賀 祥 藤原朱鳳  
中沢里花 岩谷紅花 岩谷紅花 岩谷紅花  
利谷喜子 岩谷紅花 岩谷紅花 岩谷紅花  
大平圭子 利谷喜子 岩谷紅花 岩谷紅花  
岡村玉水 利谷喜子 岩谷紅花 岩谷紅花

窪川 横田仁美  
仁淀川 山本心春  
南国 林 隆光  
波介 森澤美佑貴

中公田北筆香旭

審查	越知北筆	香旭筆	龜川筆	須崎	須崎南国
西山	久保地初	岡本美水	津野恵泉	横山翠園	小笠原順人
極山	極山	鈴木輝代	山崎隆志	高橋伸水	高橋伸水
		辻田幸子	浜田淳	濱田順人	濱田順人
		大野見	井淳	須崎	須崎

仁淀川○後藤和美  
仁淀川○山中あや

須崎  
東洋  
仁淀川  
中公  
仁淀川  
仁淀川  
山崎幸三  
山本房  
掛水勝  
原律子  
内泰子  
根口千裕  
品原里皇  
大八木洋女  
審查

第944回	競書成績
坂本碧香	★準師範
津野恵泉	審查
岩谷紅花	前田秀華
吾桑	六段
大崎花梢	越知
★四段	岡林翠
仁淀川大原紀美子	東洋
西尾明美	仁淀川
藤原勝子	仁淀川

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい。  
★臨書は出典名を記入のこと。

隨意

★三段	審査 武内 美仁 中澤英子	伊吹悠道 橋本祝子 藤原朱鳳 大平圭子 岩谷紅花 岩村祥
★四段	久保地初恵 鈴木輝代 高橋翠園 濱田順子	横山星舞 山崎隆志 濱田幸子 岡林翠子
★五段	大野美賀 岡村妙慧	横山友香 利谷喜子 横山友香 大野美賀

★一級	審査	川崎志津 市川美津 林真裕 森光朋子 濱田美恵子	吉村久美子 松島利恵 山崎幸三 高橋由美 大前田伸枝 中田花穂 藤原勝子 和田恵美 掛水勝恵 中内泰子	★初段	森澤美佑貴 山本心春 横田仁実 林隆光	坪内倫子 杉本美邦 村田啓子 井上知勢子
-----	----	--------------------------------------	--	-----	------------------------------	-------------------------------

第878回	<b>中学部</b>
審査	佐々木港花
二年	★特待生
一年	★九段
須崎 鍋島祐里花	朝ヶ丘 黃之瀬風
南 竹内雄星	介良 小松論実
一年	★八段
特待生	★九段
須南 前田真音 朝ヶ丘 橋田茉奈	

七筆成績	○印は昇級
★九段	★九段
朝ヶ丘 松浦由奈	★八段
上分 植村晴陽	★四段
上分 窪田愛生	★六級
愛宕○森田明日香	
毛筆六年	
審查 中平 美峰	
長岡 森田千春	
南 奥崎誠真	

★八段	長岡 安井風葵
★七段	岡豊 猪野離子
上分	岡上真里
★六段	西森美陽
須崎	谷口彩心
★五段	
馬路	西田紗菜
★三段	池川 長岡
小松わと	藤原乙羽 永尾 庵
★一級	飯田桃萌 片桐絢女 藤原杏実 越知
一ツ橋	別府
越知	池川 長岡
池川	越知 別府
越知	池川 長岡
米澤知那	藤原杏実 片桐絢女 飯田桃萌 一ツ橋 別府
★八級	池川 長岡
越知	池川 長岡

第878回 毛筆成績

○印は昇級

第878回 毛筆成績

良岡  
八段

八段

安井風葵  
猪野雛子

毛筆五年	審査 深瀬 緑堂	多ノ郷 森光陽菜	浦ノ内 宮地輝翔	長岡 押岡風佳	★五段	★六段	★七段	★八段	毛筆四年	審査 大原 桂園	附属 三本晴士	別府 一ツ橋 志磨村彩	★初段 別府 一ツ橋 庄武聖愛
一一ツツ橋 初月	須崎 須南 宮本里依羽	一ツ橋 氏原一乃	長岡 二宮嘉奈子	上分 多ノ郷 森岡快晴	朝比奈来夢	長岡 押岡風佳	★五段	★六段	審査 大原 桂園	附属 三本晴士	別府 一ツ橋 梅原勇人	藤嶋杜蒼月 田辺蒼月	★初段 別府 一ツ橋 岩豊 西宮咲空
片岡あい 戸戸梶愛加衣	池川 一ツ橋	池川 長岡 宮脇改太	一ツ橋 上分 多ノ郷	上分 多ノ郷	上分 小谷 口桜心	須崎 安田悠成	須崎 梅原百叶	須崎 松田菜成	多ノ郷 大城リサ	審査 大原 桂園	附属 三本晴士	別府 一ツ橋 岩豊 岩豊	秦玉城 遥音 岩豊 西宮咲空
藤嶋杜蒼月	池川 一ツ橋	江ノ口 ○下村亜李衣	別府 一ツ橋	岡豊 中司こうろ	岡豊 田所萌花	吾桑 阿漕結美	吾桑 梅原蒼美	吾桑 田所萌花	多ノ郷 大城リサ	審査 大原 桂園	附属 三本晴士	別府 一ツ橋 岩豊 岩豊	秦玉城 遥音 岩豊 西宮咲空
毛筆三年	審査 河村 容舟	長岡 小高坂 川西康介	夜須 小高坂 川西康介	★五段	★六段	★七段	★八段	毛筆二年	審査 河村 容舟	長岡 ○溝渕蒼功	長岡 ○小笠原 湊	長岡 ○北林太朗	長岡 ○溝渕蒼功
夜須 一級	須崎 須南 宮本舜翔	須崎 須南 高橋そら	須崎 佐古 田村けんご	須崎 佐古 田村けんご	須崎 長岡 ○植野 新	長岡 北村さくら子 長岡 岩豊							
清藤 蘭	浦ノ内 宮地舜翔	須崎 須南 馬路	須崎 奈路 ○植野 新	須崎 奈路 ○植野 新									
須崎 須崎 内田 正木芳尚	須崎 須崎 西村太希	須崎 須崎 西村太希	須崎 審査 奥堂 皓月	須崎 審査 奥堂 皓月									
須崎 須崎 金堂すず	須崎 金堂すず	須崎 金堂すず	須崎 審査 佐竹 江月	須崎 審査 佐竹 江月									
毛筆一年	須崎 ○森光りいな	須崎 ○森光りいな											
須崎 ○谷口きづな	須崎 ○谷口きづな	須崎 ○谷口きづな	須崎 ○谷口きづな	須崎 ○谷口きづな	須崎 ○谷口きづな	須崎 ○谷口きづな	須崎 ○谷口きづな	須崎 ○谷口きづな	須崎 ○谷口きづな	須崎 ○谷口きづな	須崎 ○谷口きづな	須崎 ○谷口きづな	須崎 ○谷口きづな

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代

5年  
9月  
規定

地名

氏名

段

級

のり代

5年  
9月  
随意

臨  
は出典名

氏名

段

級

★ 七段	越知 片岡絢女	長岡 上分 浦ノ内 長岡 西森美陽 安井大陸 猪野風葵 子	★ 八段	須崎 久保 田湧乃介 池田穂乃介 日浦靖仁 谷口彩心 本心太 良和	浦ノ内 須崎ノ内 久保田湧乃介 池田穂乃介 日浦靖仁 谷口彩心 本心太 良和	★ 九段	久礼 中平千友	審査 江西 澄翠	★ 特待生	硬筆 六年	★ 五級	もうひつ ようち・ほいく 吾桑○松坂のぞみ ふたば○後藤和葉	★ 新規 奈路植野あおい
★ 二段	上ノ加江 田中日向 政岡希子 岡田まなか	長岡 上ノ加江 飯田桃萌 永尾紗菜 庵菜瀬	★ 三段	浦ノ内 岡豊 寺田	越知 五所 岡田侑辰	★ 四段	越知 一ツ橋 濱田健琉	★ 六段	岡豊 知藤野敬心 岡田温郎	★ 七段	別府 藤原杏実	★ 一級	池川 藤原乙羽
★ 六段	馬路一久 郷 森牛戸戸 岡窓環 快晴 菜加奏	浦ノ内 長岡 一ツ橋 押岡一乃 矢野蒼真	★ 七段	初月 浦ノ内 川渕結衣 宮地輝翔	★ 八段	新莊 多ノ郷 森光陽菜	★ 九段	審査 森本 寿山	★ 五級	硬筆 五年	★ 初段	池川 藤原杏実	
★ 一段	須崎府 大須崎 東北 川庄山 持西 聖流 空愛	須崎城 東北 谷加江 庄持田 西桜和 空依花	★ 二段	浦ノ内 上土佐山 ノ加江 澤田吉 政岡明 里理花	越知 一ツ橋 馬路一ツ橋 橋 志磨村 梅原勇人 浅野由 大翔	★ 三段	南長岡 二宮嘉奈子 西山あい	★ 四段	須崎 浦ノ内 朝比奈 竹村奏佑	★ 五段	長岡 藤沢宮 駒崎片岡 高芝仁貴 あい楓	★ 初段	池川 藤原杏実

## 第677回 硬筆成績

○印は昇級

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙  
書道用具萬般乞来店



高知市南宝永町14-18  
TEL (代) (882) 1394番  
夜間・TEL (882) 1392番



(出品票)

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代

5年  
9月  
毛筆

校

名

保

学年

氏

名

段

級

のり代

5年  
9月  
硬筆

校

名

氏

名

段

級

こうひつ一年		審査 石川 美水		須崎 金堂すず		★初段	
★八級	★七級	多ノ郷 ○森光 ○はんたろう	須南 宮本はるま 上分 よしほらはるか	浦ノ内 ○岡林ゆいか 須崎 ○徳永はやと	浦ノ内 ○谷口きずな	★九級	池川 ○北村心暖 ○植野 紗雪
久礼 ○なかじま ○黒原あやかと	朝倉 ○はしだいちか ○根口このは	上分 ○山岡みづき ○はしだかほ	多ノ郷 ○はしだかほ	須南 ○田中にこ 十級編入 久礼 佐竹まこと	須崎 ○安井はづな	★九級	伊藤日向 ○奈路
久礼 ○上村心晴 ○しなじよう	池川 ○上原りあと	審査 石川 美水	こうひつ・ほいく ようち・ほいく	★新規	長岡 ○後藤和葉 ○みやたいと	★十級	浦ノ内 ○よしかまひろ
吾桑 松坂のぞみ 梅原由菜	吾桑 松坂のぞみ 梅原由菜				大間 ○坂本美咲 ふたば	★六級	浦ノ内 ○浦



## 〈お知らせ〉

### 第74回 こども県展について

先日高新で募集要項が発表されました。

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

#### 毛筆の部

課題 中三年 諸行無常

中二年 開花予想

中一年 天変地異

小六年 有言実行

小五年 菜の花畠

小四年 七つの海

小三年 年月

小二年 ちず

小一年 てつ

(特別支援学校、特別支援学級の児童、生徒は課題自由)

※ 本誌十月号の毛筆課題は、  
右のこども県展課題と同様とします。

(手本は八月審査会提出)

## 〈お詫び〉

先月(8月号)27頁のこども県展の毛筆課題が間違つて  
いました。訂正いたします。

## 【認定証について】

★ 師範

三千円

★ 準師範以下一般

二千円

★ 学生

一千円

(注意 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。)

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

(申込先) こ希望の先生に要項を明記した文書で直接お申し込み下さい。

〒七八一ー七四一二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一ー一三〇一

高岡郡越知町越知甲二一一七一一六

龍跳書道会 梅川桂龍

## お知らせ

### ※県展作品下見会

8月27日(日) 審査会終了後 (12時半)

下見会を行います。

(参加料500円)



### 昇段試験に関する件

○受験料は期日（八月三十一日）迄に 口座に振込んで下さい。

○受験作品及び受験料の審査会場での受付けは、審査日（九月四日）当日の八時三十分～九時までです。

時間、厳守して下さい。

○昇段試験「申し込み内訳表」は正しく書いて 作品に添付して下さい。

# 秋季昇段級試験作品募集

## ▽師範の部

(受験資格・本会準師範位に限る)

### ○課題

(李白「自遣」)

對酒不覺暝  
醉起步溪月  
落花盈我衣  
鳥還人亦稀  
酒にして暝を覚えず／落花 我が衣に盈つ／醉起して溪月に歩すれば  
／鳥還つても亦稀なり

- 右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と一ページ米芾蜀素帖より、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。
- 作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで姓号を明記すること。
- 当選者は本会師範に推举する。

## ▽第一部

(受験資格 一般部段位、級位の者)

### ○課題

秋草獨尋人去後 寒林空見日斜時  
秋草 独り尋ね 人去るの後／寒林 空しく見る 日斜めなる時

- 右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と一ページ米芾蜀素帖より、十二文字以上を節臨して計三點出品のこと。
- 作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓号を明記すること。
- 当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

## ▽第二部

(受験資格 一般部級位の者)

### ○課題

江靜潮初落 江 静かに 潮初めて落つ

- 上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。
- 作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。
- 作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明記すること。

## △出品料

師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千円

(作品と同時に納入してください)

- 第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さい。
- 潤筆料は条幅三点につき一万五千円、半紙三点につき五千円。

## ▽学生・学童の部

(毛筆部)

- 課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。
- 規格は半紙。一人一点とします。
- 書体は自由です。

○作品の裏にエンピツで学年、現段級位、氏名を書くこと。

○作品の表には絶対に書いてはいけません。

○出品料 五百円

## △硬筆作品

- 課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。
- それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学校名、学年、現段級位、氏名を正しく書いて出品してください。

○出品料 五百円

## △作品・出品料の締切

令和五年八月三十一日(木)

※出品料は本会口座に振込んで下さい。

※出品作及び受験料を審査当日、会場に持ち込む場合は、八時三十分～九時迄の受付です。

## △審査日時

令和五年九月三日(日)

午前九時から審査準備、十時より審査開始

高知城ホール

〒783-0081 南国市市山四九〇 西山極山

宛

(注) 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

切り取り線

## 春・秋・季 年段(級)試験申し込み内訳表

申込者氏名

	出 品 料	点 数	金 領	払い込み方法 (いざれかを○で囲む)
師範の部 (春季のみ)	8000円	点	円	現金・為替・振込み
第一部	6000円	点	円	現金・為替・振込み
第二部	4000円	点	円	現金・為替・振込み
学生・学童の部	出 品 料	点 数	金 領	払い込み方法 (いざれかを○で囲む)
毛 筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
硬 筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
合計金額			円	

※ 昇試作品に上記内訳表を必ず添付して下さい。 ※ グループで送られる方は合計点数で記入して下さい。

※ 師範の部は4体、第1部・第2部は3体を「1点」として下さい。

## 連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一ー一

隅田亘心

龍跳書道会

振替口座番号  
0-1690-3-31925

電話(〇八八九)三五一〇九七一一番

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極

電話(〇八八八)八六五一八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内二〇四

福原暁雲

電話(〇八八七)二九一二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話(〇八八九)四二一三〇六七番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話(〇八八九)四七一〇七一一番

## 阻むもの

私達は昭和五年竹村子雀先生が創立された龍跳書道会に所属し、高知県の書道文化の普及と向上を頼つて活動しています。

しかし、会員がめざした志と違つてその目的を阻む要因が次々と噴出しています。

その一つが少子高齢化の問題です。(今日は高齢化の問題にしぼります)卑近な例で申しましよう。

私は昨年九十歳を越えました。今年二月運転免許証を返納しました。「まだ乗れる」と自信たっぷりの私も家族の拒否でもろくも崩れ去りました。今はアシスタント付きの自動車に頼っていますが、これがまた大変です。「危ない」「おそれ」「不便」結果書道の活動にも響いてきます。

そして、今一つが物価高騰です。

この間、書道用品を扱つている社長から聞いて驚きました。愛用の半折画仙紙が一反で三千円近くも急騰しているのです。私達が使用している紙は主に中国や台湾から輸入されるそうです。その中国産の紙がコロナ禍やロシアのウクライナ侵攻によって値上がりしているのです。コロナ禍は致し方ないとしてもロシアはいけません。ロシアはコロナ禍によつてえいかげん疲弊している世界に燃料高騰という爆弾を投げこんだのです。

「阻むもの」はまだ他にもあります。私達はそれらを克服してそれでも書き続けなければならないのです。

月例競書課題

月例作品送り先	保育	"一年	"二年	"三年	"四年	"五年	小学六年	"一年	"二年	中学三年	半紙随意	半紙規定	一般条幅	部別	締切日	
〒783 0081 南国市片山四九〇 西山極山宛	あ き	こ め	生 命	秋 の 山 里	秋 空 高 し	空 清 き 里	科 学 技 術	暮 雲 思 郷	任 意	餘 花 猶 可 醉	任 意	九月二十日 締切	九月二十日 締切	九月二十日 締切	九月二十日 締切	
	て つ	ち ず	年 月	七 つ の 海	菜 の 花 畑	有 言 実 行	天 変 地 異	開 花 予 想	諸 行 無 常	任 意	好 鳥 不 妨 眠	任 意	十月二十日 締切	十月二十日 締切	十月二十日 締切	十月二十日 締切

会費の送金について

会費：半年分 3,000円／1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は元料不要)

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

〈例〉 12冊 Ⓐ+Ⓐ=290円×月数

17冊 Ⓐ+Ⓑ=360円×〃

30冊 Ⓐ×3=630円×〃

◎会費と龍跳誌元料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ

・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心  
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会  
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分  
誌代 ○円 / 元料 ○円

と記入のこと。

印刷所	発行所	発行人	編集室
須崎市東古市町二一一六 電話(八八九)四一〇一四四	龍跳書道会 電話(八八七)二九一二六五〇	福原暁雲(本部) 安芸郡東洋町河内三〇四 電話(八八七)二九一二六五〇	福原暁雲 野島桂山 江西澄翠 中平美峰
(有)笠岡印刷所			